

流域1万人だより 091～100

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

091. 旭公民館(鳥栖市旭地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.12.16)

092. 山春公民館(浮羽町山春地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.12.18)

093. 吉井町役場(吉井町千年地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.01.12)

094. 吉井町役場(吉井町江南地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.01.14)

095. 杷木町役場(杷木校区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.02.07)

096. 久喜宮集落センター(杷木町久喜宮校区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.02.08)

097. 立石公民館(甘木市立石校区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.02.09)

098. 金川公民館(甘木市金川校区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.02.09)

099. 志波会館(杷木町志波校区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.02.10)

100. 朝倉コミュニティセンター(朝倉町朝倉校区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.02.17)

流域1万人だより VOL. 91

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成16年12月16日(木)に旭公民館(鳥栖市旭地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、

住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	鳥栖市
1.	代表者懇談会
②	住民懇談会
出席者	
国	4名
県	2名
市	3名
住民	9名

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

- ☆昔は、安良川に魚が多かった。今は、ヨツメとかギユウギユウとか、ギバチ等がない。
- ☆近代化で農業が機械化したので、農耕馬、牛馬がいなくなった。昔は、堤防の草を刈って飼料としていたので、堤防の草はほとんどなかった。

【昭和28年水害について】

- ☆S28 災の時は安良川が破堤して、さらに鉄道を越えて、豆津の堤防が切れるまで水嵩が増え、豆津の堤防が切れた時点で水が引いて行った。筑紫平野全部が浸水した。
- ☆S28 災のときは、小森野橋が流出してしまい、堤防から手の届くところまで水が来ていた。

【治水対策について】

- ☆以前は、農地が遊水地帯となっていた。ところが、現在では開発が進み宅地化されているから、50mm 降ったらこの辺の道路は、川の様になってしまう。
- ☆雨が降った際の保水力の低下には、ゴルフ場も関係していると思う。
- ☆今、温暖化の影響で大雨がひどくなっている。支流も含めた広い視点で計画をしていく必要がある。
- ☆台風被害で倒れた風倒木が、土石流になって流れ込む可能性も考えて欲しい。

【環境整備について】

- ☆今でも産卵時期になると、西田川や沼川にたくさんのコイが遡上してくる。
- ☆魚に対する生態系はかなり良くなっている。この辺りも、合併浄化槽を設置する家が多くなり、下水も良くなっている。

【河川利用について】

- ☆宝満川の下野地区の高水敷を利用して公園化したら良いと思う。
- ☆だんだん遊び場がなくなっている。ゲートボール場等があれば、川に行く機会も増える。
- ☆久留米側はきれいに整備して、レジャー等で利用している。こちら側は、ヨシとか魚もいるのであれば、自然のままのほうが良いという考えもある。

【河川管理について】

- ☆安良川の幸津町の鉄橋の上に、暫定的に応急処置がなされてはいるものの、壊れてしまいそうな井堰がある。希望としては、橋の直ぐ下に新しい井堰を造って欲しい。
- ☆現在の堤防道路を更に拡幅して、将来的には、佐賀空港まで行ける道路を整備して欲しい。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL. 92

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成16年12月18日(土)に山春公民館(浮羽町山春地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、

51名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	浮羽町
-----	-----

1. 代表者懇談会
- ② 住民懇談会

出席者	
国	6名
県	1名
市	1名
住民	51名

主な意見

【河川利用について】

- ☆夜明ダムからJR橋まで水量が少ないので定期的に放水、浚渫して水が流れるようにして欲しい。
- ☆28年に夜明ダムができた時、洗濯場所を3箇所作ってもらったが、ヘドロが堆積してまったく使っていない。せっかくなら整備して欲しい。
- ☆大石堰～夜明ダム間はヨシの繁茂・ヘドロの堆積がある。なんとか整備を行って欲しい。
- ☆三春地区から荒瀬地区はまったくの手つかずある。昔は川に入りやすかったが、今は竹やぶになっているので改善して欲しい。

【環境について】

- ☆昔にくらべると川は汚れてしまったが、保木の沈み橋付近でカメラ片手に散歩する人をよく見かける。筑後川の環境を整備する際には、現在の良い環境を残すことも大切だ。
- ☆筑後川の水環境は良いとはいえない。生活排水等で水が汚れているし、有明海にも影響を与えていると思う。合併浄化槽で水質は良くなりつつあるが、川に住む魚も昔にくらべ少なくなった。
- ☆山の手入れをすれば、川の水も綺麗になり有明海も良くなるだろう。
- ☆夜明ダムは魚道の建設が可能ではないか。やはり、放流した魚ではなく有明海から魚が登ってくるようにして、生きた環境を取り戻すべきだ。
- ☆夜明ダムを放水して、一時間ほどは臭いがする。それだけ夜明ダムの水が汚染されていると思う。

【河川管理について】

- ☆保木公園は水の流れがなく、ヨシが繁茂している。環境に配慮した整備をお願いしたい。
- ☆日田市と浮羽町が話をし、沈み橋の通行のルールと維持管理について話し合いをして欲しい。
- ☆ゴミを捨てるなどモラルのない人が多い、この点は自分たちも考えなければいけない。
- ☆大石堰の上流に柳の木がある。ゴミが引っ掛かり・ヘドロも堆積している。周辺的环境も考えて、柳の木の伐採・浚渫等を行って欲しい。
- ☆大石放水路から保木公園まで、交通の安全面・利便性を考えて堤防道路をつなげることを検討して欲しい。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL. 93

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年1月12日に吉井町役場(吉井町千年地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、

24名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	吉井町
1.	代表者懇談会
②	住民懇談会
出席者	
国	8名
県	2名
市	2名
住民	24名

『今日の一言』

子どもたちに「川を愛する心」を教えてあげたい！！

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

☆昔は水量も多く水も飲めるほど綺麗だった。今では水量が少なくなってしまい水も汚くなった。

【治水対策について】

☆28 災のときに、漏水被害が発生した箇所を見たところ、堤体の材料に砂利が使われているようだった。堤防等の土質の確認は行っているのか。

(堤防の安全性の向上は全国的な課題であり、今年度から全国的に堤体調査を実施する。)

【環境整備について】

☆環境・景観を損なう事にもなりかねないので、川の近くにはいろいろな施設等ができないように規制をする必要があるのではないか。

☆自然環境を壊すことのないように、河川改修を進めてもらいたい。

【河川利用について】

☆川への坂路が西側を向いているので、東側へ向けられないか。

(坂路は防災上の理由により、下流向きでなければつけれないことをご理解いただきたい。)

☆サイクリング道路に車が進入して危険である。進入させないよう対策をお願いしたい。

☆昔は、子どもたちが川でよく遊んでいた。放水路などの高水敷を利用して、生物とふれあえる場を作って子供たちの教育の場とし「川を愛する心」を教えてあげたい。

【河川管理について】

☆堤防の草刈について、一番刈ってほしい堤防天端部分が残っていることが多い。管理する範囲は違おうだろうが、県と国と一緒に除草を行って無駄をなくしてはどうか。

☆ゴミのポイ捨てが多く非常に迷惑している。地域住民も注意を行うなどするべきだが、行政からも積極的な対策をしてほしい。

☆童子丸神社付近に階段を設置して、川に近づきやすくしてほしい。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 94

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成 17 年 1 月 14 日に吉井町役場(吉井町江南地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
24名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	吉井町
1.	代表者懇談会
②	住民懇談会
出席者	
国	7 名
県	2 名
市	2 名
住民	24 名

主な意見

【昭和 28 年水害について】

☆今泉集落の南にある側溝に、昭和 28 年災害時の水位を示す印があったが紛失してしまっている。復元してもらい、災害の記録が風化しないようにしてほしい。

【治水対策について】

☆51k000 左岸付近に内水対策としてポンプを設置してほしい。集中豪雨が来たときに心配である。
☆山田堰の左岸側が整備されていないが、集中豪雨が来たときに安全といえるのか。

【河川利用について】

☆朝羽大橋付近（上流）の堤防、河川敷を利用して遊ぶことが多いので、草スキー等ができるような広場を整備してほしい。
☆平常時、千年分水路には水は流れていないので、有効利用の一環として、本川の水を引き入れて流れをつくり、魚釣り等ができるような環境をつくってはどうか。

【河川管理について】

☆朝羽大橋上流などは子供がよく遊びに来る場所である。河川の利用が多く人が集まるような箇所は、除草の回数を増加するなど、管理面においても力を入れてほしい。
☆河川の陸地化が進んでいる。川に木が繁茂しているので、木や草を切ってほしい。見通しが悪く危ない。
☆久留米に行くときなどは堤防を利用しているが、幅員が狭く危険である。堤防の天端を拡幅し車がスムーズに通れるようにしてほしい。
☆堤防法面は除草されているようだが、高水敷に繁茂しているヨシは是非とも伐採してほしい。
☆毎年5月頃、周辺住民達でゴミ拾いをしている。もう少し早く除草をしてもらえば、より多くのゴミが収集できる。

【その他】

☆治水の向上も必要であるが、筑後川の周辺にある農作物、温泉等を活用・PRをして、土地の付加価値を上げて行かなければならない。利用する側（福岡市近辺の住民など）にアンケート調査を行ってはどうか。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL. 95

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年2月7日に杷木町役場(杷木校区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、

住民の方々から活発な意見が出されました！！

地域名	杷木町
1.	代表者懇談会
②	住民懇談会
出席者	
国	5名
県	0名
町	1名
住民	6名

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

☆S28水害以前は、魚やエビをたくさん釣った記憶がある。しかし水害後は、美しかった砂浜もなくなり、魚も徐々に少なくなった。

☆以前原鶴の方では、ウナギやタニシが多く取れたが、今は少ないようだ。

【昭和28年水害について】

☆S28 災時は、昭和橋を越えて水が流れて行き、東町の郵便局まで水がきた。

☆浮羽町の製材所の社屋が流され昭和橋に衝突した。材木・ドラム缶等も次々にぶつかり、昭和橋は壊れると思ったが、今なお現存している。災害の記録を伝えるためにも永久保存等行ってほしい。

【環境整備について】

☆魚(カマツカ・ギユウギユウ・エビ等)が少なくなったようだ。魚の生態調査をして欲しい。またそのような資料があれば見せて欲しい。

☆堰があるために魚が遡上できなくなった。魚道を設置してあるが、その効果は高いと言えないのではないか。

☆一時期、石がこげ茶色でツルツルの石だったので、草鞋をはかなければ川に入れなかった。

☆白木谷川は、水質が良くなってきたこともありホタルを見るようになった。シジミももうすぐ採れるようになるのではないか。

☆ジャンボタニシがたいへん増加して困っている。昔は、タニシをとってウナギの餌にしていたものだ。

【河川利用について】

☆以前のような、魚がたくさんいて子供たちが安心して釣りなどができる川にするために、住民として何をしたらよいかと考えている。

☆福岡市等、筑後川の水の恩恵を受けている所は、水源地においてボランティアや植林等を行って還元すべきだ。

【河川管理について】

☆住民が川を汚さないという意識を持って生活しなければならない。以前は発砲スチロールの回収をして焼却していたが、今では安易に燃やさなくなった。住民にも少しずつ意識改革が進んでいるのだろう。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL. 96

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年2月8日に久喜宮集落センター(杷木町久喜宮校区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し
12名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	杷木町
1.	代表者懇談会
②	住民懇談会
出席者	
国	7名
県	0名
町	2名
住民	12名

主な意見

【河川利用について】

- ☆筑後川温泉は、鵜飼を行うため水をせき止めている。そのため、土地改良区は揚水前に用水路を掃除している。地域住民に関わりのある水利用についても、整備計画には盛り込んでほしい。
- ☆堤防に桜を植えるなどすれば、川に人が寄ってくる。規制緩和等を行って、川に親しみやすい環境づくりをしなければならない。
- ☆モトクロス(バイク)は許可をしているのか。
(河川敷は基本的に自由使用である。堤防を傷つけたり、騒音がひどいということになれば指導を行う。)

【環境整備について】

- ☆水質は以前より良くなっている。大水のあとの石はきれいだが、10日ほど経てば再び汚くなる。水の透明度は増したもののやはり石は汚い。
- ☆昔にくらべて魚の種類が減った。山田堰は魚道が設置してあるが、実際のところ魚は上ってきているのか。
- ☆環境面を考えると、将来的に夜明ダムをどうするか検討する必要があるのではないか。
- ☆有明海から戻ってくる魚の種類が減った。魚が上れる川にして欲しい。その結果、魚が増え釣り人も増える。
- ☆魚が減少した原因のひとつは、支川の上流部の河川改修による環境の変化もあるのではないか。
- ☆環境を良くするためには、国交省と環境省がタイアップすべきだ。また、水だけではなく大気も大事。
- ☆県や市町村にもコンクリートを使わないように指導して欲しい。自然形態を壊さない環境に優しい工事を行って欲しい。

【河川管理について】

- ☆百間水制(57k付近)は、壊れてしまっているが、歴史的に貴重な文化財産なので残して欲しい。
- ☆千年分水路の前に、井堰を整備して船の避難場所を作って欲しい。
- ☆筑後川温泉の遊歩道(59k地点右岸)に水がたまる。夏場は汚くなるので気になる。
- ☆ノーポイ運動に3回出席したが、せっかく多くの住民が集まる機会なので、いろんな活動等について話し合いをする場を設けて欲しい。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL. 97

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年2月9日に立石公民館(甘木市立石校区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
21名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	甘木市
1.	代表者懇談会
②	住民懇談会
出席者	
国	10名
県	0名
市	1名
住民	21名

『今日の一言』

『菜の花ロード』などを設ければ川に親しみが持てる！！

主な意見

【治水対策について】

☆佐田川の堤防も全区間が完成しているわけではないため、立石地区も治水面を考えると心配である。

【河川利用について】

☆私たちは自然の中で学んできた。今の子どもたちは、川で遊ぶ所がなく釣り場もなくなっている。サイクリングロードや釣り場、北野町のコスモスも有名だが『菜の花ロード』などを設ければ川に親しみが持てる。

☆柿原地区の整備(散策路・外灯設置・蛍の里・桜)を進め、地域の憩いの場にして欲しい。

☆佐田川の柿原から屋永までの間は、冬場になると水がたいへん少なくなってしまう。環境を考えると常時水が流れるようにして欲しい。

【環境整備について】

☆川の中の小魚を増やす事が必要だ。魚を増やすためには、どうすればよいのか考えて欲しい。

☆川への親しみにストップをかけてきたのは、水の汚れである。川の水の汚れは、地下水にも影響を与えるので、井戸水も心配である。

☆河川の汚れを数値等で説明されて大丈夫だと言われても、全く理解できない。川はどんどん汚くなっていると思う。

☆1月22日に“環境 in 甘木”という各小学校による環境に対する発表会が行われ、川の汚れ等についても活発な意見交換がなされた。非常に良い企画なので今後も継続していけば、河川美化にもつながるのではないかな。

☆一人でも多くの人を集めて、環境の問題を話し合うような取り組みをお願いしたい。

☆相窪の小さな川は、水が干上がると魚(ドジョウ・フナ・ハヤ等)がいっぱい水溜りに集まる。川を整えれば魚は増えていくと思う。子供がバケツを持って魚取りを行うのが健全な子供の姿だ。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL. 98

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年2月9日に金川公民館(甘木市金川校区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、

22名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	甘木市
1.	代表者懇談会
②	住民懇談会
出席者	
国	14名
県	0名
市	1名
住民	22名

『今日の一言』

- ★今後、後世に悔いのない河川整備計画をつくって欲しい！
- ★この会議を行ったことは意義がある！
- 民意を聞くことは素晴らしい国土づくりにつながる！

主な意見

【治水対策について】

- ☆今は、雨が降ると一気に川に流れ込んでしまう。昔は、沢をジワジワと流れて川に注いでいた。
- ☆ブナが少なくなっている。ブナは保水力が高いので、ブナが育つ山作りを行ってほしい。

【河川利用について】

- ☆佐田川の水質が悪くなってきている原因は、水量が適時・適流でないためだろう。将来的にも水の量の低下と水質の悪化を危惧している。このような会議が環境を良くする計画につながるよう期待している。
- ☆小石原川ダムの早期建設、松原・下笠・寺内ダムの弾力的な運用等をお願いしているところである。川は水が流れてはじめて川になることを理解して欲しい。現在の維持流量では少なすぎると感じている。
- ☆水量確保のためには、広葉樹など山の改善も必要。落ち葉が腐葉土になって保水力を持つようになる。その結果山には多くの虫が住み、川の水もきれいになり魚も増える。山の事も考えて水量水質を検討してほしい。
- ☆福岡都市圏には水が行き届き、目の前の川に水がない状況にある。都市圏は水に対する考えを改めて、大きな貯水池を作るなどの工夫をするべきだ。

【地下水について】

- ☆昔は、地下水が豊富で飲料水として利用してきた。しかし今は、地下水位が低くなり容易に利用する事が困難な状況である。そのため川に適量の水を流し、少なくとも現在の地下水位を維持できるようにして欲しい。
- ☆農業用水が不足している。そのため、不足分は地下水をくみ上げて補っている。地下水をくみ上げなくても良いように、水を確保できる工夫を行って欲しい。

【環境整備について】

- ☆寺内ダム建設後に川の環境・水質などが悪くなったように思う。ダム建設以前は、川に飛び込んで遊ぶ事ができた。川は、常時流れないと死んでしまう。
- ☆川に住んでいる魚(ドジョウ・ギユウギユウ・ギギ等)、昆虫(ゲンゴロウ等)が、今は見られない。これは、生物の住む環境が狭められてきているためである。環境を改善しホタルが飛び回る佐田川にして欲しい。
- ☆河川整備において、山間部はコンクリートの三面張りが非常に多い。20年くらい前から水量が少なくなったのも、田の基盤整備、側溝等のコンクリート化が、保水力の低下を引き起こしているためではないか。また、河岸も淵がなく平坦になってしまった。河川工事の際には淵等にも注意を払って欲しい。

【その他】

- ☆今後、後世に悔いのない姿・教育の場として、計画を作ってもらいたい。
- ☆この会議を行った事は意義がある。少し遅すぎた感もあるが、民意を聞く事は素晴らしい国土づくりにつながる。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL. 99

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年2月10日に志波会館(杷木町志波校区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
15名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	杷木町
1.	代表者懇談会
②	住民懇談会
出席者	
国	6名
県	0名
町	1名
住民	15名

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

☆昔は54km付近に石畳や砂浜があり歩いて川を横断できた。また、たくさんの魚(ドンコ等)がおり、中ノ島のスイカを取りに行っていた。

【昭和28年水害について】

☆28年災の時は国道までが浸水し、朝羽大橋の下流あたりの堤防が決壊した。

【治水対策について】

☆S57の出水で北川地区、志波バス停付近も浸水被害を受けた。

☆放水路を流れる水は、本川と合流する際に渦を巻くので、川の流れを悪くしているのではないか。

☆恵蘇ノ宿観測所が指定水位に達する頃、千年分水路に水が流入してくる。分水路の敷高を低くして、本川の水位がある程度上昇したところで分水路に流入するようにすべきだ。

【環境整備について】

☆54km付近には砂浜があった。分水路が出来たために水の流れが変わり、砂浜がなくなってしまったのではないか。
☆川の石にアオゴケがなくなった。昔は石畳にアオゴケが生えておりたくさんの魚が生息していたが、今では魚がいなくなってしまった。しかし、巨瀬川ではたくさんの魚を見かける。

【河川利用について】

☆原鶴温泉は井戸水を使っているので、水量が少ない時は井戸水も下がってしまい、生活飲料水も少なくなってしまう。また、井戸が枯れて掘りなおしている所もある。特に、田植えの時期は一気に水が利用されるため、地下水もたいへん少なくなる。

☆菜の花の群生箇所には、ミミズを食べるもぐらが住み着き、堤防に損傷を与えかねないとの話もあるが、景観面からすれば非常に良い風景であるので大事にしたい。

☆久留米地区には多くの河川公園が整備されている。今後は上流地域における有効な河川利用のためにも、公園などの人々が憩い親しむ場所を整備して欲しい。

【河川管理について】

☆堤防道路を拡幅して欲しい。狭くて危険な箇所もあり、冬季にはスリップ事故を起こす車もある。また、なによりも堤防道路は国道よりも便利であり、安全面・利用面からみても拡幅をするべきだと考える。

☆護岸がコンクリート張りでは、川に転落した場合上がる事が出来ない。

☆原鶴大橋下流にある石の階段は、傾斜が急で幅も狭く手すりもないため、何らかの対策を行って欲しい。

☆堤防の除草について、道路と河川は管理者が違うこともあり、時期・範囲が異なることが見受けられるが、なるべく調整を行いあわせてできるようにして欲しい。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 100

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成 17 年 2 月 17 日に朝倉コミュニティセンター(朝倉町朝倉校区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、

18名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	朝倉町
-----	-----

1. 代表者懇談会
- ② 住民懇談会

出席者	
国	6 名
県	2 名
町	2 名
住民	18 名

主な意見

【治水対策について】

☆堤防は左岸と右岸では整備状況に差がある。今後は、均衡のとれた堤防整備を行ってほしい。
☆下古毛地区の堤防はしっかりしているようだ。

【河川利用について】

☆筑後川から福岡都市圏に水を送っているが、その結果として有明海の水量が減り、環境にも影響を与えるようになったのではないかと。
☆河川に近づける事を前提に整備をして欲しい。まず、河川をきれいにして近づきやすくすることが第一だと思う。
☆久留米は、堤防道路を広くして利用しやすい。これからは、堤防道路をすべて同じように拡張して利便性・安全性を向上して欲しい。
☆昔は川で遊んでいたが、今では環境が悪くなってしまい水泳禁止等川で遊べる状況ではない。川で遊べるような整備をお願いしたい。

【環境整備について】

☆環境問題(木の枝のゴミ・木の伐採・ゴミ問題)について要望を行っている。厳しい財政事情もわかるが、環境への対策は早めに行った方がコストも抑えられるのではないかと。
☆今は、昔生えていなかった植物、生息していなかった魚等(外来種)が増えてきた。

【河川管理について】

☆河川パトロールを詳細に行い、ゴミの不法投棄者に対して指導を行うべきだ。
☆沖の集落の民地～朝羽大橋付近、ここは 28 災の破堤箇所、当時治水面を考慮して根固めブロックと堤防を緊急的に整備した背景から高水敷がない状況になっている。今後は、住民を川に近づけるためにも整備をして欲しい。
☆川の中に柳の木が多く、洪水の時に阻害にならないか心配である。また、増水時にはビニール等が引っ掛かり景観的にも良くない。
☆ゴミ問題は、川に近い人だけでなく山手の人も気をつけるべきだ。清掃美化活動等の取組みを年 2 回程度行い、上流の人たちにも深刻なゴミ問題に対する認識をもって欲しい。
☆恵利堰の上流は堤防が広く、川幅も広くなり治水面では不安がなくなった。今後は、堤防を拡張して堤防道路として利用できる計画を立てて欲しい。
☆恵蘇ノ宿の瀬のすぐ下に柳の木が生えている。そこがゴミ捨て場となっているので柳を切って欲しい。
☆環境美化のため川の中のゴミを拾っている。国交省も通報があったら対応して欲しい。
☆恵蘇ノ地区の山田井堰付近の竹やぶにゴミ捨て防止の看板を立てられないだろうか。
☆とにかく釣り人のマナーが悪い。食べ散らかして帰ってしまうので困る。

住民懇談会の様子

